

心地よい風とともに、草木も躍動をはじめ季節を迎えました。

それとともに、今年もまた、多くの別れと出会いの中で新年度がスタートしました。

また、三年間続いているコロナ禍は、完全に終息したわけではないものの、学校教育活動では「マスクの着用を求めないことを基本とする」など、以前の生活に徐々に近づきつつあります。

嬉しくもあり、心のどこかに不安を抱えているという複雑な思いでいるのは私だけではないと思います。しかし、一生に一度しかない生徒たちの中学校生活を、より充実させることができるという意味では、この三年間では感じることはできなかった、期待のこもったスタートを迎えていることも事実です。

さて、本校は、県の中央部、賀茂大地の西縁に位置し、緑豊かな自然に囲まれています。校区は南北に長く、最遠の生徒は約8kmの道のりを自転車で通学しています。

昭和42年、当時の「川上中学校」と「三和中学校」の統合開校以来、「学業と部活の両立」を目標として、生徒とともに歩んできた先達の熱い思いと努力の積み上げが伝統として受け継がれており、保護者や地域の方々からの大きなご支援をいただきながら現在に至っています。

こうした中、本年度も新たに118名の新入生を迎えました。進級した二・三年生が自分たちの立場をしっかりと自覚し、代々続く「八中の伝統」の中で生き生きと成長する。その先輩の姿に憧れて、また新入生が育つ。

教職員も新たに18名が仲間入りし、より保護者・地域の方々から信頼される学校づくりを目指すべく思いを新たにしているところです。

誇りある「八中」の継承者として、職員一同、邁進していく所存ですので、今後とも、本校へのご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

令和5年4月11日

東広島市立八本松中学校長 舛金 智秋